

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 白石中央スマートＩＣ工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回	答
1	設計関係図書 設計図（函渠工）図面番号 111/134 白石 1（A-2 STA. 2 + 77.479）C-Bx- 5.60-4.50-21.85 R84° 20′ 一般図（2） の数量表につきまして、図面番号 115/134 の横断図より算出すると、構造 物掘削は 58.7m3、埋戻しは 19.4m3 と なり数量が一致しません。ご確認ください。	構造物掘削 普通部及び埋戻し、構造物 裏込め工の数量について、正しくは以下 のとおりとなります。	
		構造物掘削 普通部	58.7m3
		埋戻し	19.4m3
		構造物裏込め工	
		裏込め工 B	2102.1m3
		交付図書の一部に誤りがありましたので 後日訂正いたします。	

2	<p>設計関係図書 設計図（管渠工）図面番号 11/12 本線 STA. 96+31. 360 C-P(PC) I φ 1. 00 一般図(1)につきまして、断面図により算出すると構造物掘削の埋戻し数量は 19. 7m³ となり、同図面に記載の数量表に記載の構造物掘削の数量と一致しません。貸与資料 03 数量計算書では 19. 6m³ となっておりこちらも一致していません。ご確認ください。</p>	<p>設計図 管渠工（11/12）本線 STA. 96+31. 360 C-P(PC) I φ 1. 00 一般図 (1)の数量表における構造物掘削 埋戻しの数量について、正しくは 19. 7m³ となります。</p> <p>また、下記の箇所の構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは以下のとおりとなります。</p> <p>設計図 管渠工（5/12）A-1 STA. 1+12. 000 C-P(Cor)-1R- φ 1. 00 t=2. 0(A) 一般図(1)の数量表における構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは172. 8m³となります。</p> <p>設計図 管渠工（7/12）C-1 STA. 2+32. 400 C-P(Cor)-1R- φ 1. 00 t=2. 0, 2. 7(A) 一般図の数量表における構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは168. 5m³となります。</p> <p>設計図 管渠工（8/12）C-1 STA. 2+43. 000 C-P(Cor)-1R- φ 1. 00 t=2. 0, 2. 7(A) 一般図の数量表における構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは131. 2m³となります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
3	<p>設計関係図書 特記仕様書 P14 工事用道路に関しまして、土運搬に使用する標準的な 10t ダンプトラックの車幅を考慮すると、市道深沢前線の幅員 2. 5mでは通行が難しいと考えられます。工事用道路の路線変更や整備の予定はございますでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>工事用道路 市道深沢前線には、敷鉄板（3. 0m×156. 0m=468. 0 m²、5ヶ月）を整備し、幅員3. 0mを確保する計画となります。費用については、割掛項目 準備工事費 工事用道路費に計上するとお考えください。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>

4	<p>設計関係図書 数量明細表</p> <p>番号 113, 114 18-(3)簡易舗装工につきまして、「7 雑工 4, 913. 5m²」は、参考図 17/39 迂回道路 266. 4m² と参考図 37/39 機能補償道路の面積の合計かをご教示ください。</p>	<p>簡易舗装工の 7 雑工の数量は、設計図土工 (7/90～10/90) 平面図 (1) ～ (4) に示す「付替側道」及び「管理用道路 (C-1ランプ STA. 2+80付近右側)」の面積の合計となります。また、簡易舗装工の 7 雑工の数量 (4913. 5m²) について、正しくは3926. 1m²となります。図面における「管理用道路 (C-1ランプ STA. 2+80付近右側)」の表示漏れ、簡易舗装工の図面が不足、数量に誤りがありましたので、後日訂正いたします。</p>
5	<p>設計関係図書 金抜設計書</p> <p>142 施工ヤード整備工 ヤード整備 A について、工場用機械分解組立費が割掛されていませんが、20t 以上の重機はどこに割掛けされているかご教示ください。</p>	<p>施工ヤード整備工 ヤード整備 A に関する工事用機械分解組立費は、割掛項目 共通仮設費 工事用機械分解組立費 A で計上するとお考えください。</p>